



1/2
1137 企情

各 位

2021年7月20日
SMK株式会社
広報室長 古田尚之

センサーデータ通信費が不要 インフラ向け無線通信システムを開発

SMK 株式会社（代表取締役社長 池田 靖光）はこのたび、広島県で行われる道路照明柱の傾倒などを検知するシステムの実証実験に参加します。この実証実験は、SMK 株式会社、株式会社加藤組（注 1）、日本電気株式会社（注 2、以下 NEC）、かがつう株式会社（注 3）、株式会社荒谷建設コンサルタント（注 4）の 5 社協同で 7 月に開始します。なお、本実証は、広島県の委託事業「道路附属物（道路照明灯）自己点検システム構築業務」に基づき実施するものです。

SMK は、これまで実現できなかった電灯の点灯監視や亀裂や腐食などによる道路照明柱の傾倒など、道路附属物の状態を検知する点検業務支援システムを構築するため、各種センサーと当社製無線通信モジュールを搭載したセンサー基板を開発しました。このセンサー基板を自動点滅器内に組み込み、道路照明柱に設置することにより、無線通信を使用し定期的にデータを NEC のクラウドサーバーにアップロードします。

今回の実証実験では、通信費を発生させないために、920MHz 帯の当社オリジナルプロトコル無線を使用し、自動点滅器内の無線通信モジュールと、道路を巡回監視するパトロールカーに搭載するゲートウェイ間でデータ通信し、センサーの情報を収集する構成としています。この構成により、山間部など一般的な公衆無線回線が利用できない場所にも対応できるとともに、巡回監視中に接近した道路照明柱の情報を収集することにより、電灯の故障や道路照明柱の根本の腐食による傾倒などの異常を検知することも可能となります。

当社は今後も、IoT 機器、センサー機器などでのビジネス創出を積極的に進めてまいります。



【実証実験の各社の役割】

社名	役割
加藤組	本実証実験とりまとめ
NEC	クラウド管理システム開発
SMK	スマート自動点滅器（センサー開発）
かがつう	スマート自動点滅器（機器開発）
荒谷建設コンサルタント	現地調査、検証

(注1) 本社：広島県三次市、代表取締役：加藤 修司

(注2) 本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長 兼 CEO：森田 隆之

(注3) 本社：東京都中央区、代表取締役社長：野崎 信春

(注4) 本社：広島県広島市、代表取締役社長：荒谷 悦嗣

【スマート自動点滅器外観】



問い合わせ先：TEL 03-3785-5334 広報室 古田 尚之

以上